

自己評価報告書

平成 23 年 4 月 5 日現在

機関番号：10104
 研究種目：基盤研究（C）
 研究期間：2008～2012
 課題番号：20520313
 研究課題名（和文） 『マハーバーラタ』と日本文学作品の比較文学的研究および日本神話研究への応用
 研究課題名（英文） A Comparative Study of Mahabharata: for Further Comparative Studies with Japanese Classical Literature and Japanese Mythology
 研究代表者
 中村 史（NAKAMURA FUMI）
 小樽商科大学・商学部・教授
 研究者番号：20271736

研究分野：日本文学、インド文学、比較文学、説話文学
 科研費の分科・細目：文学 各国文学・文学論
 キーワード：マハーバーラタ、神話、説話、比較

1. 研究計画の概要

叙事詩『マハーバーラタ』は膨大な神話、説話を含み持つ巨大なインド文学作品である。また、この作品から仏典等を通じて日本文学に数多くの説話等が流れ込んでいる。本研究は、日本古典文学作品との比較研究を見据えつつ、『マハーバーラタ』の説話を比較文学的に研究し、さらに日本神話の比較神話学的研究への応用を目指すものである。

2. 研究の進捗状況

本年度は本研究の5年目に当たる。本年度11月末を期限として、本研究の4年分、及びその準備期間であったその前1年分の研究成果、『マハーバーラタ』の比較文学的研究を博士論文としてまとめ、提出する予定である。

この博士論文は、『マハーバーラタ』第13巻の説話数話の比較文学的研究である。その研究の中心は、本研究4年分と前1年分の論文の改稿、及び、総論、及び、追加の2～3章から成る予定である。仮の目次（予定）を示せば、次の通りである。

序章

第1章 『マハーバーラタ』第13巻第1章
 「蛇に噛まれて死んだ子どもをめぐる対話」

の考察

第2章 『マハーバーラタ』第13巻第1章
 の思想的考察—運命と行為—

第3章 『マハーバーラタ』第13巻第5章
 の説話「鸚鵡とインドラの対話」の考察

第4章 『マハーバーラタ』第13巻第50章
 「チャヴァナ仙と魚たち」の考察

第5章 『マハーバーラタ』第13巻第102章
 の説話—「ガウタマ仙とインドラの対話」
 の考察—

第6章 蛇に噛まれて死んだ子どもをめぐる
 対話：『マハーバーラタ』第13巻第1章の説話・和訳研究

第7章 鸚鵡とインドラの対話：『マハーバーラタ』第13巻第5章の説話・和訳研究

第8章 「チャヴァナ仙と魚たち」：『マハーバーラタ』第13巻第50章の説話・和訳研究

第9章 ガウタマ仙とインドラの対話：『マハーバーラタ』第13巻第102章の説話・和訳研究

終章

この博士論文を本研究課題、『マハーバーラタ』の比較文学的研究の成果中間報告として作成する。

3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

(理由)

上記(2. 研究の進捗状況)のように、本研究課題4年度目において、研究成果を博士論文としてまとめる予定であるので、順調に進展していると言える。

4. 今後の研究の推進方策

本研究課題5年度目の後、本研究課題終了直後1～2年の間に、上記のように博士論文としてまとめた研究を公刊の計画である。そのため、本研究課題の改稿・補訂・加筆の作業を続行する。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計7件)

①中村史『マハーバーラタ』第13巻第1章の考察—運命と行為—(『印度学仏教学研究』、査読有、第59号第2号、平成23年刊行予定、822～828頁)

②中村史『マハーバーラタ』第13巻「蛇に噛まれて死んだ子どもをめぐる対話」の考察(『印度哲学仏教学』、査読有、第25号、平成22年10月、332～343頁)

③中村史『マハーバーラタ』第13巻第50章「チャヴァナ仙と魚たち」の考察(『印度哲学仏教学』、査読有、第24号、平成21年10月、326～335頁)

④中村史「ガウタマ仙とインドラの対話：『マハーバーラタ』第13巻第102章の説話・和訳研究」(『小樽商科大学人文研究』、査読無、第117集、2009年3月、15～38頁)

⑤中村史『マハーバーラタ』第13巻第102章の説話—「ガウタマ仙とインドラの対話」の考察—(『印度哲学仏教学』、査読有、第23号、平成20年10月、333～343頁)

⑥中村史「鸚鵡とインドラの対話：『マハーバーラタ』第13巻第5章の説話・和訳研究」(『小樽商科大学人文研究』、査読無、第115集、2008年3月、195～209頁)、

⑦中村史『マハーバーラタ』第13巻「鸚鵡とインドラの対話」の考察(『印度哲学仏教学』、査読有、第22号、平成19年10月、288～298頁)

[学会発表] (計3件)

①中村史、『マハーバーラタ』第13巻の説話の考察、日本印度学仏教学会・第61回学術大会、2010年9月11日、立正大学

②中村史、『マハーバーラタ』第13巻の説話研究—第50章「チャヴァナ仙と魚たち」—、北海道印度哲学仏教学会・第25回学術大会、平成21年8月29日、北海道大学

③中村史、『マハーバーラタ』第13巻第102章の説話「ガウタマ仙とインドラの対話—良い行為をした者の行き先は—」、北海道印度哲学仏教学会・第24回学術大会、平成20年8月30日、北海学園大学